

## 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 5年 2月15日 酒田市はまなし学園

保護者等数（園児数）29 回収数 29 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	26	3	0	0	・もっと建物が広いとよいと思う。	支援内容やお子さんの状況に応じてスペースを有効活用していきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	28	0	0	1		お子さん2名程度に保育士等1名が配置されています。児童発達支援ガイドラインに沿った職員が配置されています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	27	0	0	2	・駐車場が雨天時に冠水して、駐車できない箇所がある。 ・コロナ禍の影響もあり、園の中の様子を見れていないため分からない。	ご不便をかけしております。排水の方法を検討していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	26	1	0	2	・コロナ禍の影響もあり、園の中の様子を見れていないため分からない。	清掃、消毒の徹底、換気や採光の工夫を心がけています。活動に合わせて遊具を配置したり、環境を整えたりしています。入室以外の方法でも保護者の皆様に伝わりやすいよう工夫していきます。
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 <sup>ii</sup> が作成されているか	29	0	0	0	・「こうなってほしい」という意向を取り入れてもらっている。	今後もお子さんの姿を共有し、保護者の意向を聞き取り、児童発達支援計画を作成していきます。
適切な支援の提供	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	28	1	0	0	・課題に対して具体的な支援内容となっています。	今後もお子さんの課題に合わせ、具体的な支援内容を設定していきます。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	28	0	0	1	・計画に沿った支援で達成できています。	児童発達支援管理責任者と担任で共有し、計画に沿った支援を行っています。



	17	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	29	0	0	0	
保護者への説明等	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	24	1	0	4	・業務に関する自己評価の結果について教えてほしい。  業務に関する自己評価の結果は令和元年度からホームページで公表しています。今年度公表されましたらICT保育システム(コドモン)でお知らせしますのでご覧ください。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	28	1	0	0	利用契約時に同意書をいただき、適切に管理するよう努めています。今後も職員間で注意喚起を図り、十分に気をつけていきます。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	28	0	0	1	各種マニュアルはクラス懇談会でご覧いただきました。園内での閲覧が可能ですので、ご希望の方はいつでもお申し出ください。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練が行われているか	28	0	0	1	月に1回、災害や不審者等に備えて訓練を実施しています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	29	0	0	0	
	23	事業所の支援に満足しているか	29	0	0	0	

(注釈)

- i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。
- ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。
- iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
- iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

(保護者等の皆様へ)

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。